小学生国語　基本文法002　接続語　001　逆接

小学三年生くらいから確認しておきたいのは、日本語の基本文法です。
今回は、接続語を学んでいきましょう。（内容は小学三年生～ですが、中学生・高校生の復習にも）

接続語とは

接続語とは文と文を意味的につなぐ役割がある言葉です。

例文

1　がんばって勉強をした。だから　テストで百点を取ることができた。
2　早歩きで急いだ。しかし　集合時間には間に合わなかった。
3　新幹線、飛行機、路面電車が好きだ。つまり　乗り物が好きだ。

これらの傍線部――がついている言葉が接続語です。前の文と後ろの文をつなぐ役割をしていますね。
では少しくわしく見ていきましょう。

逆接

前の文の内容と逆や違うことを言ったり、前の文の内容が思うような結果にならない時に使います。

例文

4　カミオ君は遠足はガリミ公園がいいと言う。だが　僕はポジデ公園の方がいいと思う。
5　見た目のせいか最初は怖そう人に思えた。ところが　話してみると気さくな人だった。
6　漢字の練習をいっぱいした。しかし　漢字テストの点数は悪かった。

逆接の接続語・・・しかし・だが・けれども・でも・ところが

※逆接の接続語は、前の文の内容を否定しているとは限りません。

例文の5では、「怖そうな人」→ではなかった。と前の文を否定していますが、
例文の6では、「漢字の練習をいっぱいした」ことを、否定しているわけではありません。

小学生の段階ではあまり気にする必要はありませんが、「逆接は前の文を否定」と決めつけずに、よく文章を読むようにしましょう。

例題A　次の文章で、逆接の接続語が入る文を二つえらぼう。

1　昨日は夕食後にケーキを食べた。（　　）今日の朝はすっきりと目覚めることができた。
2　今日は昼から大雨だった。（　　）夕方には道路もすっかり乾いていた。
3　バスは予定の時刻よりも遅くついた。（　　）道路がかなり混んでいたからだ。
4　夏は十分に水分補給した方が良い。（　　）一日に三リットル飲むのは飲みすぎだ。
5　スイスに行ってみたい。（　　）カーボベルデにも行ってみたい。

（例題Aの答えと解説は、3ページ目にあります。）

小学生国語　基本文法002　接続語　002　順接

順接

前の文の内容が原因や理由になっていて、後の文がその結果や結論になっています。

例文

1　ダッシュの練習をたくさんした。だから　運動会で一位を取ることができた。

2　今年はとてもあつい夏だ。したがって　熱中症になる人が増えた。

3　強力な洗剤で掃除をした。よって　お風呂はピカピカになった。

順接の接続語・・・だから・したがって・ゆえに・なので・よって

※そして　は、順接のように使えますが厳密には順接ではありません。

理由と結論という関係性が成立しなくても使えるからです。例文で確認しましょう。

例文

4　強力な洗剤で掃除をした。そして　お風呂はピカピカになった。

例文3の順接を　そして　に置き換えても成立しています。

次の例文はどうでしょうか。

5　お祭りでいろいろ見て回った。そして　わたあめを買って食べた。

6　お祭りでいろいろみて回った。だから　わたあめを買って食べた。

5の文の　そして　を、6のように　だから　の順接にするとおかしな文になります。

このように、そして　は順接のように使える時と使えない時がありますので注意しましょう。

例題B　次の文章で、順接の接続語が入る文を二つえらぼう。

1　昨日の夜はよく眠れた。（　　）　今の朝はすっきりと目覚めることができた。

2　夕方から川の水があふれそうだった。（　　）　昼過ぎから大雨だったからだ。

3　夏休みに入った。（　　）　ショッピングモールは平日でも混んでいるだろう。

4　うちの猫はおやつが大好きだ。（　　）　ごはんを食べるのも大好きだ。

5　動物園にはトラやキリン、ゾウなどがいた。（　　）　たくさんの種類の動物がいたのだ。

（例題Bの答えと解説は、3ページ目にあります。）

例題の答えと解説

例題A　次の文章で、逆接の接続語が入る文を二つえらぼう。入れてある接続語は一例です。

1　昨日は夕食後にケーキを食べた。（　×　）　今日の朝はすっきりと目覚めることができた。

◎2　今日は昼から大雨だった。（　だが　）　夕方には道路もすっかり乾いていた。

3　バスは予定の時刻よりも遅くついた。（　なぜなら　）　道路がかなり混んでいたからだ。

◎4　夏は十分に水分補給した方が良い。（　しかし　）　一日に三リットル飲むのは飲みすぎだ。

5　スイスに行ってみたい。（　さらに　）カーボベルデにも行ってみたい。

ポイント解説

1は前後の文で関係性がありません。

2は大雨だったが、道路がぬれていないで乾いたという逆接になっています。

3は前が結論で、後が理由です。

4は逆接になっています。

5は会話では　でも　を入れて話すこともありますが、書き言葉では　さらに・また　が良いでしょう。

例題B　次の文章で、順接の接続語が入る文を二つえらぼう。入れてある接続語は一例です。

◎1　昨日の夜はよく眠れた。（　したがって　）　今の朝はすっきりと目覚めることができた。

2　夕方から川の水があふれそうだった。（　なぜなら　）　昼過ぎから大雨だったからだ。

◎3　夏休みに入った。（　だから　）　ショッピングモールは平日でも混んでいるだろう。

4　うちの猫はおやつが大好きだ。（　さらに　）　ごはんを食べるのも大好きだ。

5　動物園にはトラやキリン、ゾウなどがいた。（　つまり　）　たくさんの種類の動物がいたのだ。

ポイント解説

1は接続語の前が理由で後が結果と順接になっています。

2は前が結果で、後ろが理由になっています。

3は夏休みは一見理由に見えないかもしれませんが、夏休みなので子ども達が学校へ行かないので、平日でもショッピングモールに子どもを含んだ人々が多いと容易に想像がつきます。

したがって順接で説明できます。少し話が飛躍しているように感じるかもしれませんが、こうした順接もあります。

4は　さらに　また　がいいでしょう。話言葉では　そして　や　でも　を入れても通じてしまいます。

5は前が具体的で、後ろがまとめて抽象的になっています。

（具体と抽象については、小学生基本文法００３の「具体と抽象」の説明と例題をご覧ください）